

IEC 関連国際会議日本開催支援規程細目

(総則)

第1条 本規程細目は、電気学会が審議団体を務める IEC 関連の国際会議の日本開催支援に関する制度について定めた規程細目である。

(適用範囲)

第2条 本規程細目は、電気学会が審議団体を担当している委員会の TC および SC (WG, PT および MT を含む) 国際会議を日本で開催する場合を対象とし、開催を主催する IEC 国内委員会の所属企業等からの参加支援金が十分確保できない場合に適用する。

(支援対象および金額)

第3条 支援対象の費目は以下とし、個別の内容について評価する。

費 目	評 価 方 法
会場費	実費
機材借用費	実費
会議費 (茶菓, 昼食など)	実費, ただし 1,000 円/人・日を限度とする
レセプション費	実費, ただし 1 回のみ, 5,000 円/人を限度とする
その他, 審査委員会が必要と認めたもの	

ただし、支援金額は総額で以下を超えないものとする。

TC および SC のプレナリミーティング：50 万円

WG, PT および MT：20 万円

なお、TC および SC のプレナリミーティングに合わせて WG 等を同時開催する場合または複数の WG 等を同時開催する場合は、1 件の国際会議とみなすものとする。

(準備金貸出し)

第4条 本規程細目に基づく支援金とは別に、事前に必要となる会議運営費用 (例えば会場費の予約金等) の支払いのため、50 万円を上限として準備金の貸出しを受けることができる。借り受けた準備金の返却は、借用の 1 年後または会議終了後 2 か月のうち早いほうとする。

(計画申請)

第5条 原則として、本支援の申請は、翌年度の標準化活動方針提出時 (毎年 1 月) に合わせて、翌年度開催予定の支援対象国際会議について実施する。年度の途中にて

急遽、対象会議の日本開催が必要になった場合は、速やかに事務局へ連絡するとともに申請書を提出する。

なお、事後申請および当該会議の決算が次年度へ繰り越される場合は受け付けない。

(手続き)

第6条 以下の流れで手続きを行う。

(1) 申請者は、国際会議日本開催支援申請書(様式1)、実施計画書(様式2)および収支計画書(様式3)を作成し、事務局へ提出する。

(2) IEC国際活動支援審査委員会は、必要性、収支内訳、本制度による支援および必要支援金額について、本規程細目の主旨に沿って審査する。

(3) 規格役員会は、IEC国際活動支援審査委員会の審査結果を決議する。

(4) 事務局は、規格役員会決議結果を申請者へ通知する。

(5) 準備金が必要な場合、申請者は、IEC国際会議日本開催準備金借用申請書(様式4)を作成し、事務局へ提出する。

なお、準備金は会議開催の前年度でも貸し出すことができる。

(6) 申請者は、会議終了後に収支報告書(様式5)およびそのエビデンス、会議およびレセプションの参加者名簿ならびに会議報告書および会議議事録を作成し、事務局へ提出する。

(7) IEC国際活動支援審査委員会は提出資料を確認し、支援金額を審査する。

(8) IEC国際活動支援審査委員会の審査結果が当初規格役員会で決議していた支援金額以下の場合、これを最終の支援金額とし、IEC国際活動支援審査委員会は審査結果を規格役員会にて報告する。

当初決議していた支援金額を超える場合には、IEC国際活動支援審査委員会はその詳細を明確にするとともに処置方法について検討し、規格役員会は改めて決議する。

(9) 事務局は、支援金額を申請者へ通知し、支援手続きをする。

(剰余金)

第7条 本会議開催において、剰余金が発生した場合は、電気学会の本部に繰り入れるものとする。

(付則)

1. 平成22年3月3日、理事会において承認制定。
2. 平成23年1月27日、規格役員会において一部改正。

(様式 1)

年 月 日

社団法人 電気学会
電気規格調査会
会長 殿

申請委員会名

委員長

印

IEC 国際会議日本開催支援申請書

下記 IEC 国際会議の経費を援助して頂きたく、別紙実施計画書および収支計画書のとおり申請致します。

記

会議種類 : (TC SC WG PT MT)

会議名 :

開催月日 : 年 月 日から 年 月 日まで

開催場所 :

準備金要否 : (要 不要) 要の場合 : 金額 円

以 上

(様式2)
別紙

年 月 日

実 施 計 画 書

1. 主な審議テーマ
2. 国際会議での審議ポイント (概要)
3. 開催日程
4. 会場 (会場名・会場場所)
5. 会議スケジュール
6. 参加予定人数 (各日毎)

(様式3)
別紙

収支計画書

会議名：

開催日：

<支出>

No.	項目	金額	単価	数量	備考	電気学会 査定額
1	会場費					
2	機材借用費 (プロジェクタ等)					
3	会議費 (茶菓, 昼食など)					
4	レセプション費					
5	その他					
	(1) 通信・運搬費					
	(2) 印刷費					
	(3) テクニカルツアー費					
	(4) 雑費 (その他)					
支出総額		0	-	-	(消費税込)	

↑できるだけ詳しく記述

↑事務局
記入欄

<収入>

No.	項目	金額	単価	数量	備考
1	参加支援金				
2	他の支援事業からの支援金				
収入総額		0	-	-	

↑できるだけ詳しく記述

支援必要金額 (支出-収入)	0
-------------------	---

電気学会支援金額	
----------	--

↑事務局
記入欄TC及びSCのプレナリは最大50万円
WG, PT及びMTは最大20万円

(様式 4)

年 月 日

社団法人 電気学会
電気規格調査会
会長 殿

申請委員会名

委員長

印

IEC 国際会議日本開催準備金借用申請書

IEC 関連国際会議日本開催支援の規格役員会承認に基づき、下記のとおり準備金借用を申請致します。

記

会議種類 : (TC SC WG PT MT)

会議名 :

開催月日 : 年 月 日から 年 月 日まで

開催場所 :

借用額 : 円

振込先 :

銀行名	
支店名	
預金種別	
口座番号	
口座名義 (カタカナ)	

以上

(様式5)

収支報告書

会議名：

開催日：

<支出>

No.	項目	金額	単価	数量	備考	電気学会 査定額
1	会場費	0				
2	機材借用費 (プロジェクタ等)	0				
3	会議費 (茶菓, 昼食など)	0				
	[内訳]	0				
		0				
		0				
		0				
4	レセプション費	0				
5	その他					
	(1) 通信・運搬費	0				
	(2) 印刷費	0				
	(3) テクニカルツアー費	0				
	(4) 雑費 (その他)	0				
支出総額		0	-	-	(消費税込)	

↑できるだけ詳しく記述

↑事務局
記入欄

<収入>

No.	項目	金額	単価	数量	備考
1	参加支援金				
2	他の支援事業からの支援金				
収入総額		0	-	-	

↑できるだけ詳しく記述

支援必要金額 (支出-収入)	0
-------------------	---

電気学会支援金額	
----------	--

↑事務局
記入欄TC及びSCのプレナリは最大50万円
WG, PT及びMTは最大20万円